

学校教育目標

- ・生徒、保護者、地域の信頼に応え、生徒の夢や希望を実現できる学校を目指すとともに、地域を愛し、地域に貢献する人材育成を目指す。
- ・学習活動や部活動、HR活動等の学校生活をととして、心身ともに健やかな、社会人としての資質、素養を兼ね備えた人材育成を目指す。

やりきる力

思考力・判断力・表現力

- ・課題に対して、あきらめず、ねばり強く取り組むことができる
- ・他者と協力して、困難を乗り越えることができる
- ・解決に執着し、長期的に努力を継続できる

主体性

学びに向かう力

- ・自分の将来像を、キャリアの視点から思い描くことができる
- ・自己の現状を理解できる
- ・自ら課題を発見することができる

何ができるようになるか

○ 学校教育の基本

- ・自らキャリアについて考えることができる
- ・自ら課題を発見し、解決に向かう道筋を立てられる
- ・適切に他者とのやりとりができる

何が身に付いたか

○ 学習評価を通じた学習指導の改善

- ・キャリアについて自ら調べることができる
- ・学習内容の定着と、課題解決能力の向上
- ・あいさつの習慣とコミュニケーション能力

子どもの実態

- ・解決のための論理的思考に必要な基礎的知識とスキルを身につける必要がある
- ・総合的、批判的な思考と忍耐力を身につける必要がある

子どもの発達をどのように支援するか

- 配慮を必要とする子どもへの指導
- 生徒固有の興味関心を伸ばす指導
- 多様な特性に対応できる環境づくり
- 行動や感情をコントロールできる自律性を養う指導

目指す子どもの姿

- ・学習習慣が定着し、自ら学ぶことのできる態度とスキルが身に付いている
- ・物事に対して自ら疑問を持ち、解決に向けて長期的努力ができる

何を学ぶか

○ 教育課程の編成

- ・多様な進路選択に対応した教科、科目の編成
- ・多面的評価のできる学習評価とフィードバック
- ・知識とスキルのバランスがとれた指導方法と評価
- ・キャリア意識を養う機会の創出
- ・他者と協働する態度とスキルを養う機会の創出

どのように学ぶか

○ 教育課程の実施

- ・普通科目と専門科目の精選
- ・短期、長期の学習評価のPDCAサイクル
- ・考査と学びの基礎診断ツールの連動、実習評価とパフォーマンステストの頻繁な実施
- ・幅広いキャリア選択を想定した進路ガイダンス
- ・知識、スキルをシェアできる授業形態の創出
- ・各科の特性を生かした学び

実施するために何が必要か

○ 指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・幅広いキャリアに対する知識：キャリア教育講話、見学会、進路ガイダンス
- ・学力評価の機会：学びの基礎診断ツール、各種検定
- ・地域との連携：学校公開、地域行事への参加、地域団体との協働、合同学習会
- ・職員間の相互研修の機会：授業参観、指導案作成と研究協議

安全安心な学習環境の確保

- ・いじめの起こらない環境整備と人間関係の育成
- ・定期的な施設、設備の管理体制
- ・困り事を相談できる生徒、教員の関係維持
- ・学校と家庭の連絡、連携体制

開かれた学校づくり

- ・定期的な学校公開の設定
- ・地域社会との共有・連携
- ・学校HP、SNS等による配信

【別紙２】

令和３年度 茨城県立波崎高等学校 「三つの方針」

三つの方針（スクール・ポリシー）	内 容
「育成を目指す資質・能力に関する方針」 （グラデュエーション・ポリシー）	（長期的目標） 心身ともに健やかな社会人としての資質、素養を兼ね備え、地域を愛し、地域に貢献できる人材（人財）の育成
「教育課程の編成及び実施に関する方針」 （カリキュラム・ポリシー）	（中期的目標） 生徒一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育課程による、就職から大学進学までの進路希望実現
「入学者の受入れに関する方針」 （アドミッション・ポリシー）	（短期的目標） 入学の段階から高い目的意識を持ち、自己の進路実現を目指し、日々努力する生徒